

# 令和4年度和歌山県文化功労賞

とんぺい たなか よしゆき  
TONPEI(本名 田中 良幸)

住 所 和歌山県紀の川市  
出 身 地 和歌山県紀の川市  
生 年 昭和33年

## ◎ 業績及び経歴

昭和33年那賀郡粉河町(現紀の川市)に生まれる。小学生の頃からドラムを始め、中学生の時にフォークソングに傾注。県立和歌山北高等学校在学時にヴォーカルとしてバンドを結成する。

プロを目指して上京した後、結婚を機に和歌山に活動拠点を移し、和歌山市内の楽器店に就職。音楽教室運営等に従事しながらアマチュアとして音楽活動を行う。50歳の時にプロの演奏家をバンドメンバーとして迎え開催した和歌山県民文化会館でのライブが大盛況となる。

54歳でサラリーマンを退職し、プロシンガーソングライターとして本格的に活動を開始。「歌で和歌山を元気に」を合言葉に「TONPEI BAND」を率いてコンサート活動を行う。平成24年に発売したセカンドアルバムのタイトル曲でもある「夢は途中」は、老若男女、頑張っている人々への応援歌として、多くの人々に共感と勇気を与え、関西テレビ「ギョクセキっ!」やテレビ大阪「大阪発しゃべるランチタイム なにしよ!」の番組エンディングテーマ曲としても取り上げられた。

また、平成26年には日本生命セ・パ交流戦2014のオリックス・バファローズ対阪神タイガース戦の京セラドームにおいて国歌斉唱を行ったほか、身近な人を元気にしたいという思いから、介護施設等で積極的にライブ活動を展開。和歌山放送ラジオ「TONPEIの今夜もうたWAナイト」、テレビ和歌山「TONPEIのリクカラ!」など、各種メディアに自身のレギュラー番組を持ち、コンサート活動だけにとどまらない幅広い活動を行っている。

音楽教室での指導からプロシンガーソングライターまで、活躍の舞台を様々に変えながら、長年歌を通じて地元和歌山を元気にするための活動を精力的に行い続ける氏は、本県の音楽文化の振興に尽力されており、その功績は多大である。

## ■ 現 在

・ 歌手

## ◆ 主な表彰歴等

平成30年 和歌山県知事表彰(文化振興)